



射水市立大門小学校 学校だより



三輪の結

大門っ子

第6号

令和5年7月6日

## 新体力テストに仲よく挑戦



最近の子供たちの体力は、低下傾向にあり、また、運動する子供としない子供の二極化が進んでいると聞いたことがあります。子供の運動能力や体力の低下の原因として、次のようなことが挙げられます。

☆生活の利便性や生活様式の変化は、子供に積極的に体を動かすことをさせなくなった。

☆子供を取り巻く環境について

- ・学校外の学習活動や室内遊びの時間の増加による、外遊びやスポーツ活動の減少
- ・スポーツや外遊びに不可欠な要素である時間、空間、仲間の減少
- ・発達段階に応じた指導ができる指導者が少ない

☆偏った食事や睡眠不足等、子供の生活習慣の乱れが見られる。(出典：文部科学省)

このような状況を改善するために、新体力テストにより現下の子供たちの運動能力や体力を把握し、対策を練って取り組んでいこうと思います。

6月12日(月)より、全校児童を対象とした新体力テストを実施しました。測定項目は「握力」「上体起こし」「長座体前屈」「反復横跳び」「20mシャトルラン」「50m走」「立ち幅跳び」「ソフトボール投げ」の8種類です。

測定を効率よく行うため、1年生と6年生、2年生と5年生がペアとなり、測定を手伝いました。下学年を世話する姿が微笑ましかったです。また、どの子供も少しでも記録を伸ばそうと一生懸命に頑張っている姿が印象的でした。結果を集計し、子供たちの体力づくりに努めていきたいと思えます。

## ありがとうございました引き渡し訓練!

6月16日(金)、「強風で危険である」「大雨警報が発生した」「大きな地震が起きた」「近くで不審者が出没した」「犯人が逃げている」など、児童を下校させるのが危険な状況を想定して、児童の引き渡し訓練を行いました。学習参観後、保護者の皆様は廊下で待機し、寺島生徒指導主事からの放送後、順に教室へ移動していただきました。そして、教室の入り口で、保護者「〇〇の〇〇です」担任「(引き渡しカードを確認して)しばらくお待ちください。今お連れします」担任「(児童に)〇〇さんの〇〇さんに間違いありませんか」児童「はい、間違いありません」のやり取りの後、引き渡しを行いました。大切な訓練にご協力いただき、ありがとうございました。



# 火災から身を守る避難訓練！



6月15日（木）に、今年度最初の避難訓練を行いました。給食室から出火したと想定し、出火の連絡を受けた金森先生が現場に向かいました。初期消火が困難と判断し、火災報知機を押しました。校内にけたたましい音が鳴り響きました。状況を確認し、避難指示を伝えると、石黒教務が緊急避難開始の放送を入れました。消防署へ連絡するよう指示し、中野教頭が119番通報を行いました。放送後、全校児童及び教職員がグラウンドへ一斉に避難を開始しました。避難中は「おさない・はしらない・しんけんに、しゃべらない・もどらない・ていがくねんゆうせん」を守り、無事に避難を完了しました。火災発生から集合完了まで、4分43秒でした。全校児童634名と教職員51名という大人数にもかかわらず、たいへん素早い避難ができた后感心しました。

学校はたくさんの大切な命を預かっています。これからも、万一来に備え、避難訓練に真剣に取り組み、児童一人一人の防災の意識を高めていきたいと思ひます。



## 防火に努めようBFC入隊式

避難訓練後には、5年生のBFC（少年少女火災予防クラブ）への入隊式を、ランクルームで行いました。代表の子供たち8名が、力強く「誓いの言葉」を述べ、子供たち全員で復唱しました。少年消防手帳を手渡し、5年生全員が無事に入隊しました。子供たちはこれから率先して火災予防に努めようという決意の表れた引き締まった顔をしていました。火事を起こさないようみんなで心がけていきたいですね。



## 挨拶の輪が広がる！



6月13日（火）から生活安全委員会が計画した挨拶運動が始まりました。委員会の子供たちと先生方が、あいさつロードに立ち、登校してくる子供たちに元気な声で挨拶をしました。友達から返事が返ってくると嬉しそうでした。

また、20日（火）・22日（木）には、二口地区支え合い協議会の方々とPTA役員、子供たちが一緒に挨拶運動を行いました。

大門小学校に、素敵な挨拶の輪がどんどん広がっています。



（校長 阿尾昌樹）